

## 地方創生における地域金融機関と財務局の役割

財務省 原村 健二

滋賀大学 片山 雅志

本報告では、地域創生の取組み及びそこにおける地域金融機関や財務局の取組みを具体的に取り上げることによって、地方創生における地域金融機関と財務局の役割を探ることを目的とする。

地方創生は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、「地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする」「地方への新しいひとの流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」という4つの基本目標を達成することを目指し様々な政策を展開している。また、財務省の総合出先機関である財務局は、地域における関係者とのネットワークを活用した地域連携の取組みをすすめている。

例えば、滋賀県長浜市では、有志が街づくりの会社を設立して当該建物を買い戻してガラス工芸を中心とした街づくりを行い、年間観光客200万人が訪れるようになったが、地元の地域金融機関である長浜信金は、当該会社への出資や融資の他に、当該会社の商品購入協力や観光客に対する駐車場の提供といった協力を行っている。その裏で、当該会社への出資者から隣接する商店街関係者が排除され、本来は両者が協力すべきところ、現在に至るまで商店街と良好な関係が築けていない状況にある。

また、山口県山口市では、県が創業支援施設を作り、運営会社が積極的な支援を行い実績もあげているが、地域金融機関である山口銀行は運営会社への出資や創業者の一部海外販路の開拓支援などの限定的な役割にとどまっている。

このように、地域金融機関の地方創生への取組みは一定程度地域に貢献しており、それ自体は評価すべきものであるが、更なる支援が期待されている。他方で、地域金融機関の地方創生への取組みは、各機関の経営判断の下で行われる収益向上策の1つにすぎないという点への留意が必要である。

本稿では、地域を熟知している地域金融機関ならではのさらなる地域創生への取組みにおける役割について提言することとしたい。また、財務省の総合出先機関である財務局の地域連携の取組みや最近の地域経済エコシステムの形成に向けた取組みを紹介するとともに、地域創生における財務局に期待される役割についても言及することとしたい。